

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

鳥根県 大田市

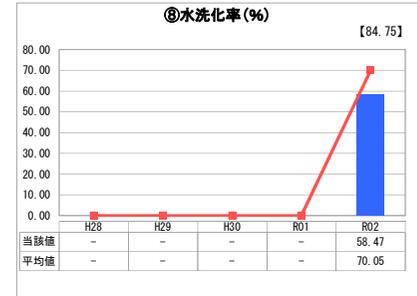
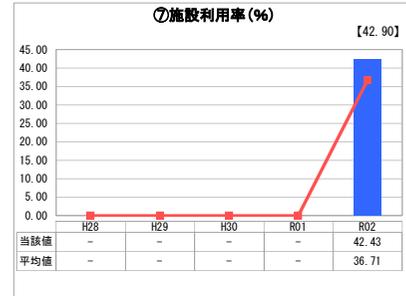
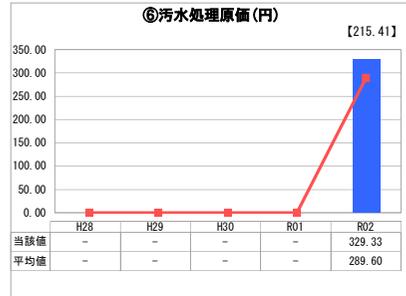
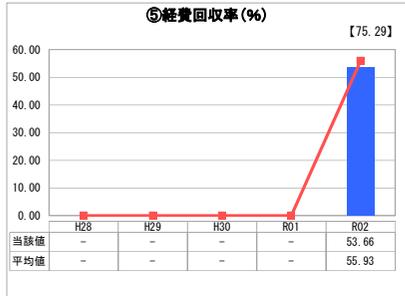
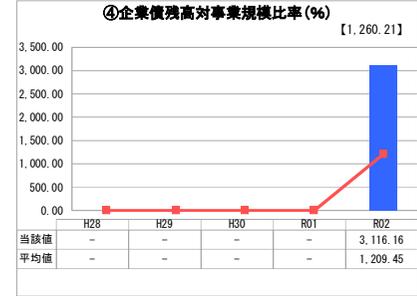
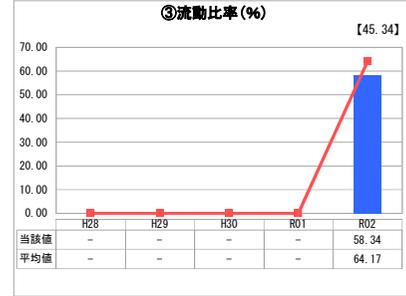
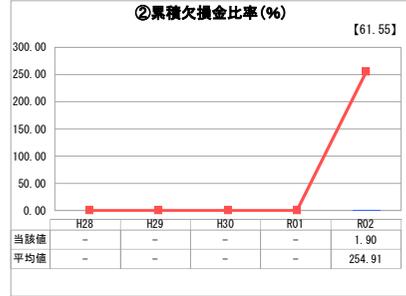
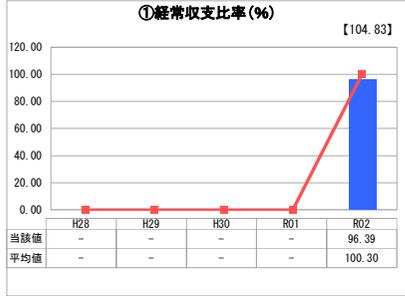
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	55.42	10.05	95.24	3,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,800	435.34	77.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,378	1.13	2,989.38

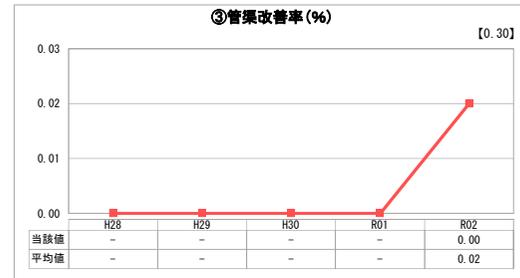
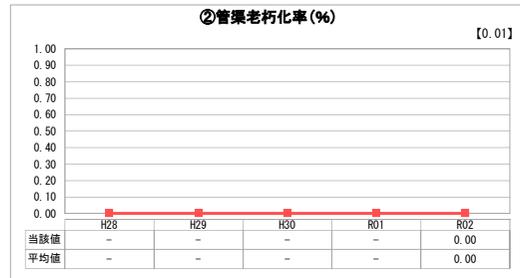
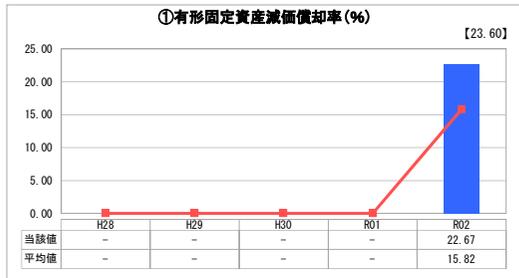
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

地方公営企業法の一部適用となった初年度であり、前年度との比較ができないが、同じ項目があったものは【】内に前年度数値を記載している。

- ① 経常収支比率  
経常収益のほとんどは会計補助金であるが、その大半は総務省の定めた基準に則したものである。
- ② 累積欠損金比率  
類似団体平均は下回っているものの、今後も注視していく必要がある。
- ③ 流動比率  
年度末の未払金が多いため資金には余裕がない。会計補助金を分割してもらったり、一時借入金で運転資金を確保している。
- ④ 企業債残高対事業規模比率【3,116.16%】  
大規模投資の予定はないため、少しずつ改善していくと思われる。
- ⑤ 経費回収率【71.86%】
- ⑥ 汚水処理原価【193.16円】  
悪化しているように見えるが、前年度は打ち切り決算が影響している。前々年度と比較するとあまり変化はない。
- ⑦ 施設利用率【43.74%】  
類似団体平均は上回っているが、平均処理水量は減少傾向にある。
- ⑧ 水洗化率【56.91%】  
下水道への接続が進んだことで水洗化率が上昇しているが、類似団体平均を下回っている。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
管路については法定耐用年数50年のため、減価償却はまだ進んでいないが、処理場施設内の機械設備等は法定耐用年数を超えていなくても更新するものが始まっており、今後計画的な更新をしていく必要があると思われる。
- ② 管渠老朽化率 ③ 管渠改善率  
令和2年度末現在、供用開始から12年を経過している。現在のところ、法定耐用年数50年を経過した管渠はないため、更新の必要性は低い。

## 全体総括

当事業は供用開始後12年が経過している。令和2年度から地方公営企業法による会計処理に移行し、年度末をもって整備を終了したところである。今後は令和3年度に策定した経営戦略に基づき、接続率の向上や経費節減など、経営基盤の強化に努めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみを類似団体平均値及び全国平均を算出しています。